

# 謹んで新年のお慶びを申し上げます



2019.1.1  
NO.626号  
全港湾関西地方  
阪神支部  
大阪市港区築港  
1-12-27  
☎06-6574-8424  
☎078-303-0800  
全港湾は一人  
でも入れます

執行委員長  
島山 昌悦



組合員の皆さん、ご家族の皆さん、新年明けましておめでとございませう。

今年一年も私たちの「くらし」が健やかに過ごせることを願ってやみません。昨年を振り返ってみますと、海外では3月に始まった米中貿易摩擦が激化し、世界の景気が減速傾向にあるとの観測です。

日米間では9月の国連総会で安倍首相とトランプ大統領が会談。日本は「日米物品貿易協定(TAG)」と訳す協議の交渉を約束させられました。

船名	スーパースターヴァーゴ
就航年	1999年
総トン数	75,338トン
全長	268メートル
全幅	32メートル
乗客定員	1,870名
乗組員数	1,300名

本年早々協議に入りませんが、理不尽な要求が噴出し、1月末に召集予定の通常国会は「森・加計」疑惑の追及と共に外交に弱い安倍政権の二国間貿易問題で与野党の質疑が激しく展開されるでしょう。

また、6月には史上初の米朝首脳会談がもたれ、緊張緩和が進みました。それまで安倍首相は「対話はしない。ミサイル実験や非核化に応じなければ実力行使もやむなし」との姿勢を貫いていましたが、トランプ大統領が「対話」へと方針を変更するや否や強気の挑発的発言をやめました。アメリカ力べつたりの安倍政権を露呈した典型的な一面でした。

国内では、6月の震度6弱の北摂地震、9月の大型台風、組合員や家族親戚の中にはその被害に遭われた方々もおられるでしょう。お見舞い申し上げます。明るい出来事もありません。2月の平昌(韓国)五輪では、流行語大賞にもなった「そだねー」のカーリング、スピードスケート女子の活躍、フィギュア羽生結弦選手の連覇。

9月の全港湾全国大会であいさつに駆け付けた玉城デニー沖縄県知事選勝利(当時は立候補予定者)。民意を愚弄する安倍政治に「喝」を入れることができ

ましたが、新基地建設は強行されています。「喝だ!」今年の港湾・運輸関係に触れたいと思います。

先にも触れましたが、米中貿易摩擦がもたらす生産拠点の中国からのグローバルな分散配置が東南アジア諸国を中心に今後進むかもしれません。それは、荷主の貨物拠点の流動分散をもたらすことになり、我々の港湾物流もその影響が懸念されます。

さらに、高齢化や労働者不足が深刻化し、その対応として政府は昨年、働き方改革や外国人労働者を緩和する法整備を進めました。なかでも港湾の自動化・無人化をどう捉えていくか、運輸産業が直面している低賃金・長時間労働の今日的課題についてどう克服させていくか、行政が目論む港湾・運輸政策は事業者・労働者にとつてどのような影響をもたらすか、加えて、基本的な生産構造が根本的に覆されるIoTやAIなどの情報技術革新への対応も避けて通れません。

特に港湾では、自動化導入による賃金・労働条件について、現場を支える労働力に更なる影響が生じる恐れを懸念する労働組合の至極当然の主張に対し、港湾協会は産別最善の回答を拒否する不誠実な態度を改め、関係者が献身的な議論

を始めていかなければならない時期に来ていると思います。

そんな中での19港湾春闘は、10月の消費税増税に伴う賃上げ闘争を主軸に波乱の展開が予想されます。そして、日検闘争です。

2015年9月末、日興サービス社(日検の指定事業体)に阪神支部を組織した当初、劣悪低賃金な労働条件と暴力的非人間的な作業手配のもと、就労差別・パワハラに遭い、過密長時間勤務や計画的残業外で生活困窮に陥るなど、日検の徹底した全港湾嫌悪のたたかいです。

現在では団交拒否の府労委も12月に結審し、春先には命令が出る予定になっており、名古屋地裁で争っている雇用裁判の援護射撃にならばと思っております。しかし、名古屋支部では昨年10月、日検の新たな不当労働行為による救済申立を労働委員会ですたかっています。

完全勝利を目指して、阪神支部の総力を挙げてたたかい抜いていかなければなりません。

最後に、本年も組合員の皆さんとご家族の皆さんのご多幸と益々のご活躍を祈念しまして、阪神支部執行委員会を代表して新年の挨拶とさせていただきます。団結、がんばろう!



地元・沖縄で親しまれた元参院議員、喜屋武真栄(きやんしんえい)さんが、人間にも「五分

の魂」だと訴えたのは1970年12月、コザ暴動から3日後の参院・沖縄北方特別委員会でのことである。その魂が踏みじられたとき「抵抗する、立ち上がるのは、これは人間の生きる本能である、こう思われてなりません」。そこまで痛めつけられた私たちの心を本土の人にも知ってほしい、分かってくれたい、と市民5000人が米軍両などを焼き打ちにした騒乱はコザ市(現沖縄市)で起きた。米統治下、基地があることによる事故や犯罪はなくなり、人権はあつてなきがごとし。怒りのマグマがいつに爆発したとされる。いま沖縄の魂を踏みじろうとしているのは誰であろう、日本政府である。年末、米軍飛行場の移設に向けて、辺野古の海に土砂が投じられた。沖縄県は何度となく中止を申し入れている。政府は「なるほど」と対話のポーズをとってみせながら、その実、何も聞いていなかった。同じことが本土で起きてても、皆さんは黙っていますか? オキナワが鋭くそう問いかけてくる。どう答えるか。

# 日検抗議行動&全日検未払い賃金は正申入れ 違法行為を許さない! 港湾産別の秩序を守れ!

11月30日、港湾産別の秩序を乱し、違法行為を改めることなく、さらに団体交渉をも拒否し続ける日検に対して抗議行動を行いました。

前回は真夏で、名古屋史上最高気温が観測された日でしたが、今回は真逆でも寒い中での行動となりました。抗議行動はこれまで名古屋支部に5回、東京本部へ4回取り組みました。

が、名古屋港労使パトロールが同日に予定されていたので日程を合わせ日検名古屋支部及び名古屋港周辺での取り組みとなりました。

名古屋支部、阪神支部の仲間たち総勢30名が集結



駅頭に立っての宣伝行動

終陳述が行われました。現在は救済命令交付待ちの状態となっておりますが、一日も早く勝利命令が出されることを待つばかりです。

私たちは指定事業者の設立目的が当初の主旨から逸脱しており、日興サービスの若年労働者の働かせ方が違法であることから日検本体に移籍させることを求めてきました。

一旦は毎年120人程度を移籍させるという確認書を取り交わしましたが、一方的に「労使関係がない」という理由で確認書を反故にしました。

2017年の11月、日興サービス組合員16名が偽装請負により日興サービスから日検に派遣労働者として受け入れていたとして、労働者派遣法40条に基づいて直接雇用を求める訴訟を名古屋地方裁判所に提訴しました。

さらに名古屋支部でも愛知県労働委員会に対し、西脇書記長への賃金・労働条件の悪質極まりない変更、さらに団交拒否と支配介入の不当労働行為救済申し立てを2018年10月3日に行なっています。

また、今回は全日検について重要請願行動を行いました。内容は過去のいびつな労使協議により、合意した住宅手当の取り扱いに不備があり、再三の是正勧告に

も応じず反故状態が長年に亘り続けられ、未払い賃金が発生することが発覚しました。明らかに違法状態であることから、11月19日に名古屋南労基署並びに神戸東労基署に早期解決に向け是正勧告の申請を行いました。



日検名古屋支部前での抗議行動

日検抗議行動の同日、全日検に対して未払い賃金の是正についての申し入れを全日検名古屋支部に行いました。後日12月11日、神戸東労基署から全日検に、就業規則と勤務表の提出を求め調査した結果、労基法に違反していることが判明したとの連絡がありました。

そのうえで、全日検に対して平成28年11月より平成30年11月までの2年間に遡って未払い賃金を支払うことと、住宅手当を割増賃金

算定基礎とする「是正勧告」が出されました。宣伝カー3台による流し

宣伝行動では、名古屋港周辺、飛島頭方面、金城ふ頭方面と隊を分け、中でも

## 大阪維新政治ですべての道はカジノへ 2019年を転換の年に

維新政治がめざすカジノ誘致、「都構想」で大阪の経済や暮らしはよくなるだろうか。災害が相次ぎ、カジノより暮らし、防災の声が高まっている。2019年の統一地方選、大阪府知事・大阪市長W選で問われる争点である。

### 【10年越しの計画】

2008年2月に大阪府知事に就任した橋下徹氏は当初から大阪へのカジノ誘致を狙っていた。就任翌年、橋下知事はカジノを大阪にもつてきたいと公言。10年には「大阪都構想」を発表するとともに、カジノ施設見学にシンガポールを訪問したり、米カジノ大手の経営者と会談もした。11年に大阪市長になった橋下氏は13年、夢洲へのカジノ誘致案を安倍首相に示している。

### 【財源確保のため】

住民投票で否決されても「都構想」に維新が固執するのは「カジノ整備の財源確保のため」と中山徹・奈良女子大教授は指摘する。「明日の大阪をつくるスタート集会」18年10月、明るい民主大阪府政をつくる会・大阪市をよくなる会主催。大阪府をよくなる会主催。大阪府をよくなる会主催。大阪府をよくなる会主催。

なぜカジノなのか。維新はカジノを大阪経済活性化のリーディング産業にしようとしているからだ、と中山氏。しかし、カジノは「最悪の青い鳥」だと次のように説明する。海外観光客対象のマカオやシンガポールと違って想定するカジノの客は7割が日本人。収益は米国のカジノ企業に入り、地域経済の衰退、行政の福祉サービスなどの切り下げをもたらす。ギャンブル依存症も増やす。「青い鳥は大阪の身近なところにいる」。医療、福祉、教育を充実させ、中小企業を応援することが活性化につながる。建設関係もカジノで潤うのはゼネコンだけ。住宅改修など地域のニーズを地元工務店につなぐことが行政に求められている。2019年は維新政治で「奪われた10年」を転換させるチャンスだと中山氏は訴えた。

書記次長 久保田 稔

# 第33回支部安全衛生委員会総会 安全は総てにおいて優先される 労使で安全な職場を目指し活動

12月7日に大阪港湾労働者福祉センターで第33回支部安全衛生委員会総会を開催しました。来賓、企業



側、組合側合わせ総勢で74名の参加がありました。開会に先立ち、八幡委員長は今日の情勢に触れながら、「働き方改革で様々な問題が生じ、港湾関係も例外ではなく様々な職場にも影響があると思うが、労使で解決して頂きたい」とあいさつされました。

9団体からの来賓あいさつがされ、祝電メッセージも披露された後、入江委員から2017年度活動報告がされました。そして労使出席者に「2018年は自然災害が多発した年であった。各店社及び組合安全担当者には自然災害に対する避難対策マニュアル作成を早

急に実現して頂きたい」との要請を行いました。記念講演として、「健康格差」と題し、大阪医学研究所所長で医学博士でもある中村賢治氏による講演がありました。



プロジェクターを使って講演する中村氏

中村氏は「健康の定義とは病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態である」と前置きし、遺伝や体質はそれぞれ平等に与えられるが生活習慣、社会、環境、医療は平等に与えられていない。

働いて、食べて、寝て、また働くの繰り返しではない長時間労働は奴隷的拘束である。どんな家庭で生まれたか？どんな人に育てられたか？育つ環境や

学習の機会、労働条件、職場環境、社会情勢、これらすべてが健康を左右する。と格差の中間について詳しく説明されました。

さらに中村氏は「お金持ちが長生きし、貧乏人が早死にする社会は許せない」とし、労働組合に求めることとして「社会格差縮小のために、個々の企業の賃金だけでなく、労働者全体の賃金を上げることが必要で、元請け企業を筆頭に、非正規労働者などあらゆる労働者と連携し運動することが重要ではないか」と力説されました。

労働運動で労働諸条件の向上は重要課題であると認識してはいますが、最も優先されるべきは安全に安心して働ける職場環境づくりだと思います。この度の総会が更に労働安全衛生活動の拡充につながっていくと感じさせられた総会となりました。

報告書によると、自動車工業会は自民党の政治資金団体・国民政治協会に8000万円、不動産協会は4000万円献金しています。財界いなりりの減税は、そうした献金への見返りともいえます。

参加組合員より「防災対策に対する意識が低い企業へは支部安全衛生委員会として指導してほしい」という要請がありました。それに対し「地域、業種、就労実態が異なるため、基本は職場討議と労使による安全会議にて検討してもらいたい。又、速やかに実践されるよう安全衛

生委員会としての最善策を検討させてもらいたい」との答弁がされました。閉会あいさつで太田垣委員は「安全は総てにおいて優先されるので、今後も労使で安全な職場づくりを目指して活動していきたい」と決意が述べられ総会は終了しました。

執行委員 坪井 雄志

安倍政権の与党 自民と公明が、2019年度の税制改定の大綱を決めました。19年10月からの消費税の10%への増税を「確実に実施する」前提で、売上げに大きく影響するとされる自動車や住宅への減税措置などで業界の要望に応えています。一般消費者や中小零細企業には消費税増税に加え、「増税対策」と称して行われる制度負担ものしかかります。消費の落ち込みが心配というなら、大企業いなりりのばらまきではなく、増税そのものをやめるべきです。

与党の税制大綱は、消費税増税と同時に進む食料品などの「軽減税率」導入の財源について、昨年の所得税等の増税分と、増税4年後に導入される「インボイス」制度などで賄うと

## 主張

明記しました。仕入れにかかった税額などを取引先に通知する「インボイス」は、零細な免税業者は発行できません。取引からの排除を恐れる免税業者が課税業者になり、納税すること

による2000億円規模の増収を見込みます。「軽減税率」は、税率を8%に据え置くだけで「軽減」でも何でもなく、納得のいかなる境界線を設けてさらに制度を複雑にし、混

が打ち出した自動車減税は、消費税増税後の購入者に自動車税を割り引き、取得税も廃止して「環境性能割」の税率も軽減するなどとし、不動産協会も「住宅ローン減税の拡充」を求め

またしても大企業優遇でしかない税制改革

社会福祉に回されず、低所得者ほど負担が重く、消費を冷やし景気を悪化させる、消費税の増税は中止すべきです。

消費税に頼らない財政財政の実現へ、来年の統一地方選挙、参院選挙で安倍政権に審判を下し、退陣に追い込むことが必要です。



総会に参加した安全衛生委員と労使代表者

# 大阪交運共闘会議第28回定期総会 大阪万博問題を残した ままの開催は許されない



の持つべき緊張感を歪め、不祥事が後を絶たず、行き詰まりが見られる。働き方改革関連法についても自動車運転業務は先送りされているが、我われ労働組合が悪政に対し先頭に立ち声を上げる必要がある現状に、より一層の団結を強め安倍政権打倒、自民党を政権与党の座から引きずり下ろさなければならない」と強調しました。各単産の活動報告では阪神支部として、

12月1日、自交会館に於いて大阪交運共闘会議第28回定期総会が開催され、阪神支部からは代議員6名が参加しました。

開会の挨拶で堀川副議長(国交労近畿)は、全国的に災害に見舞われた年であり、復興へ向けての活動の報告とともに被災者に対し、心から哀悼の意を表しました。また、「労働組合として各種補償や雇用保障等を求める協力要請をおこない最大限、速やかに復旧に努めなければならない」と話されました。

南議長(阪神支部副委員長)からは、「西日本での記録的豪雨による警報が出た際、赤坂自民亭と称し酒席に興じ、豪雨災害の対策本部設置よりも総裁選対策を優先した安倍首相、政治

業とする者の歴とした職場であり、建設時の工事車輛や期間中の来場者等による更なる渋滞問題が起こる事は明白です。港湾という産業に大きな影響と問題を残したままの開催は港湾労働組合として阻止しなければ

## 第27回支部青年部総会

### 沖縄基地問題にふれて

#### 青年部が、私たちが出来る事

12月14日に第27回青年部総会を神戸ポートオアシスで開催し、支部来賓1名、青年部役員9名、分会参加者13名で総勢23名が参加されました。

開会で福井部員は「今日はお仕事帰りの中、この総会に参加して頂き大変嬉しく思っている。私たちの活動、沖縄基地問題の現状を知って頂けたら嬉しい」とあいさつしました。支部来賓あいさつで菅沼執行委員は「台風21号の影響は未だに残っていて、これからも労使間の協力は必要になる。しかし、働き方改革関連法も成立しており、会社からの不当な要請に対しては注視しなければならぬ」とし、「沖縄平和行進や全国青年対策会議、バスツアー等々の活動で多忙だとは思いますが、これからも若い力で頑張ってください」と激励しました。2018年度沖縄平和行



## 分かるかな？ 懸賞クイズ

お正月や、年始に係る漢字を集めてみました。すべて答えよ。

- |        |         |         |
|--------|---------|---------|
| 1. 睦月  | 9. 年賀   | 17. 小正月 |
| 2. 初鳥  | 10. 初詣  | 18. 左義長 |
| 3. 御降  | 11. 白朮詣 | 19. 注連貫 |
| 4. 若水  | 12. 歳徳神 | 20. 鳥総松 |
| 5. 初手水 | 13. 恵方  | 21. 松過  |
| 6. 大服茶 | 14. 松の内 | 22. 獅子舞 |
| 7. 屠蘇  | 15. 飾納  |         |
| 8. 齒固  | 16. 鏡開き |         |

明けましておめでとうございます。625号応募締め切りが発行日と同日の12/10となっていました。すみません。625号のクイズ締め切りも今号の締め切りと同日に延長いたします。今年も懸賞クイズを宜しくお願い致します。626号の締め切り日は2月1日(金)です。ふるってご応募ください。

米軍が沖縄の基地に70年以上も長く居座る理由は、世代を経て沖縄県民の生活の一部になることで「なぜ海外の軍隊の基地があるのか？」という疑問を抱かせないためである。名護市長選では、大きなテーマであるはずの基地問題を意図的に触れなかった自民推薦の渡具知氏が当選してしまっただ。しかし、県知事選では普天間飛行場の県内移設に反対していた翁長前知事の遺志を継いだ玉城デニー氏が当選し、沖縄県民の民意を示した。何としても移設工事を進めたい政府は2019年の2月に予定されている住民投票で、さらなる基地反対の民意を恐れたの

が辺野古埋め立て予定地に土砂を投入してしまっただ。これは民主主義国家として恥ずべき行為である」と詳しく説明されました。さらに、「沖縄で生活している人々より、普段基地のない環境で生活する私たちの方が沖縄にたくさん基地があることへの違和感を感じるはずだ。その第一歩が沖縄平和行進である。多くの方々に参加して頂きたい」と力説されました。

その後、活動報告、続けて総括と方針の提案がされ、中島部員の閉会あいさつでは「3年間、青年部員として活動してきて、仲間と協力する大切さが改めて分かった。青年部は引退す

## 教宣部員紹介 JET分会 遠藤 佑助



今期から支部教宣部に参加させて頂きますJET分

会の遠藤佑助です。初めてする事なので分からない事はありますが先輩の方々に教えて頂き、皆さんに分かりやすく伝えていけるよう頑張つて務めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。